



ごあいさつ

代表取締役社長 齋藤 成雄

日新電機は昨年4月 創立100周年を迎えることが出来ました。

これまでの皆様のご支援に感謝申し上げます。

当社の歴史を振り返りますと、京都帝国大学で電気の研究をしていた富澤信が大学発のベンチャー企業として日新工業社を1910年に創業し、1917年に株式会社化して日新電機株式会社となりました。その後、高電圧を中心とした自社独自の技術開発と国内外の企業との協業により、電力機器事業とビーム・真空応用事業を中心に事業拡大を図ってきました。

2016年度より5年間の中長期計画「V2020」を進めており、18年度は、その中間の折り返し点となります。注力する領域を、①国内の再生可能エネルギー活用や電力自由化を中心とした電力パラダイムシフトへの対応、②海外新興国で成長する電力エネルギー分野、③次世代半導体やフラットパネルディスプレイ（FPD）の製造装置、④モビリティ関連素材・部品の付加価値を高める加工や加工装置の分野、⑤装置・設備の点検、保守効率化や延命化のためのライフサイクルエンジニアリング（LCE）分野、⑥高電圧、ビーム・真空応用技術の利用拡大とし、これら「6つの成長ドメイン」のニーズに合致した技術・製品開発を進めております。

更に、「V2020」から「Beyond V2020」を見据えて、昨年7月に4つの企画推進プロジェクトを立ち上げ、具体的テーマを立案しております。2018年度初頭より具体的な新製品開発、新市場開拓を開始いたします。

今回の技報では、2017年の技術開発の成果を特集するとともに、一般論文として5つのテーマについて直近の開発状況を掲載いたしました。これらの研究・技術開発成果を製品に仕上げ、社会へ送り出すことにより、当社の企業理念「社会と産業の基盤を支える企業活動を通じ、環境と調和し活力ある社会の実現に貢献します」を具現化してまいります。

これからも日新電機グループへのご支援とご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。